

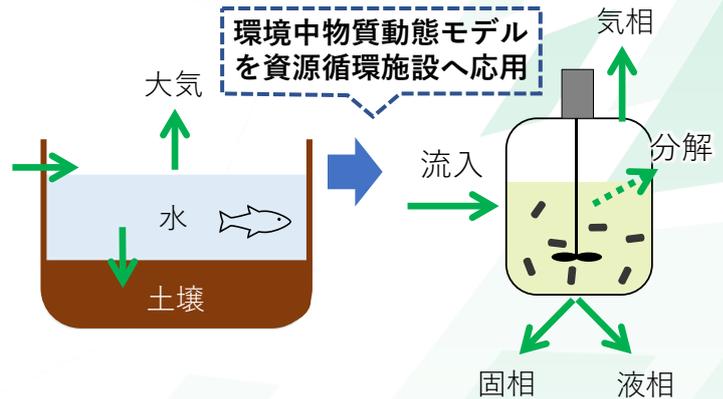
バイオガス施設における環境汚染物質等の挙動予測モデル

国立環境研究所 資源循環領域 倉持秀敏 副領域長・小林拓朗 主幹研究員

研究内容

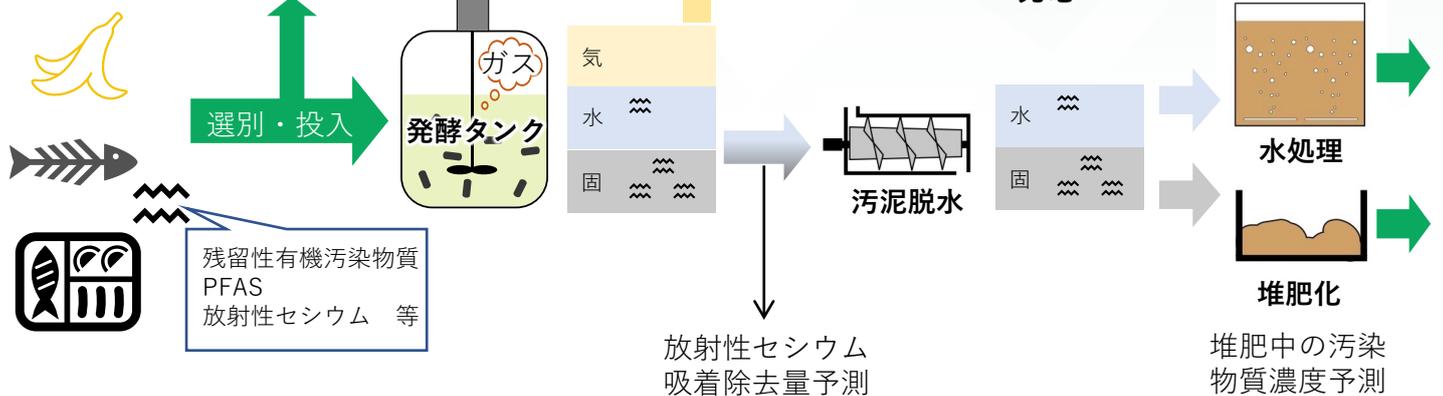
- 有機性廃棄物・バイオマス为原料としてガス燃料を生産するバイオガス施設では、処理残渣は肥料として農地で利用したり、水処理して環境中に放流されたりする。
- 実態調査の結果、容器包装等に由来すると思われる有機汚染物質等が残渣に残留することがわかった。
- 汚染物質の分配挙動を把握し、処理プロセス内での分布を予測するモデルを構築した。

施設における環境汚染物質挙動のモデル化



応用例

廃棄物等の原料



セールスポイント

- 実施調査、実験に基づく汚染物質の分配挙動の予測であり、施設の運転パラメータ、マスバランスに応じた出力が可能。
- 今後の研究の進展に応じた対象物質の拡張が可能。

研究キーワード

・バイオガスプラント・環境汚染物質・モデル・リサイクル

お問合せ先

国立環境研究所 連携推進部 研究連携・支援室

〒305-8506
茨城県つくば市小野川1 6 - 2
TEL:029-850-2472 FAX:029-850-2716
MAIL: renkei_r1@nies.go.jp

国立環境研究所 資源循環領域
領域長室
倉持秀敏 副領域長
<https://www.nies.go.jp/researchers/100205.html>

